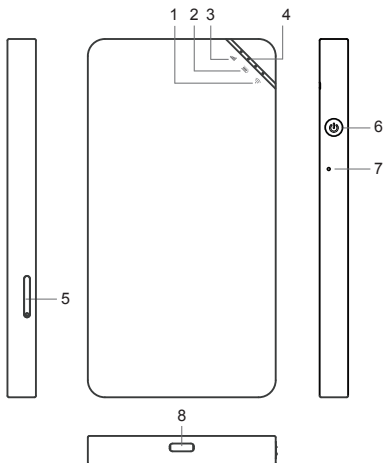


U3 ユーザーマニュアル



製品の概要



- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. Wi-Fiインジケータライト | 2. バッテリーインジケータライト |
| 3. シグナルインジケータライト | 4. 強度インジケータライト |
| 5. SIMスロット | 6. 電源ボタン |
| 7. リセットボタン | 8. Type-C USBポート |

ユーザーマニュアルの情報は、ソフトウェアのバージョンによって異なる場合がございます。ご了承くださいませ。

本体付属品

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. U3 (モバイルルーター本体) | 2. ユーザーマニュアル |
| 3. ACアダプタ | 4. USBケーブル (Type-C) |
| 5. SIMピン | |

機能紹介

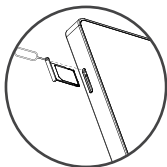
1. 電源オン：電源ボタンを3秒間押し続けてください。
2. 電源オフ：電源ボタンを5秒間押し続けてください。
3. 再起動：電源ボタンを14秒間押し続けてください。
4. リセット（工場出荷状態に戻す）：リセットボタンを5秒間押し続けてください。
5. バッテリー残量と信号強度の表示：電源が入っている状態で電源ボタンを単押しすることにより、バッテリー残量と信号強度が表示されます。

（強度インジケータライトの点灯数が強度を表します）

LEDインジケータタイプ	状態	説明
Wi-Fi インジケータライト	オン	インターネットに接続完了
	オフ	インターネットに未接続
	点滅	インターネットに接続中
シグナルインジケータライト	オン	電波強度を表示
	点滅	サービスエラー
バッテリーインジケータライト	オン	バッテリー残量の表示
	点滅	充電中

SIMカードの利用

1. U3はNano SIMカードのみ対応します。SIMカードを抜き差しする場合は、必ずデバイスの電源を切ってください。
 2. SIMピンを使用してSIMスロットを引き出し、右の図のようにSIMカードを挿入します。
- ※本製品はPINコードロックがかかっているSIMカードのご使用はできません。SIMカードにPINコードロックがかかっている場合は、事前にご利用者様ご自身でロックを解除してからご使用ください。



技術規格

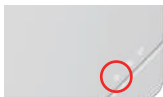
- サイズ: 126*66*10mm
- LTE FDD: バンド1/2/3/4/5/7/8/9/12/13/17/
18/19/20/25/26/28/66
- LTE TDD: バンド34/38/39/40/41(194M)
- WCDMA: バンド1/2/4/5/6/8/9/19
- GSM: 850/900/1800/1900
- 上り最大速度: 50Mbps
- 下り最大速度: 150Mbps
- Wi-Fi: IEEE802.11b/g/n
- USBポート: Type-C (入力)
- バッテリー容量: 3000mAh
- 入力電力: DC 5V \equiv 2A

接続

1. 端末の起動

電源ボタンを3秒押して起動してください。

Wi-Fiインジケータライトが点滅→点灯状態になるのを確認します。



2. Wi-Fi接続設定

【手動で接続する場合】

スマートフォンやPCから本端末のSSIDを選択しパスワードを入力してください。

【QRコードで接続する場合】

スマートフォンでQRコード読み取りアプリがある場合は読み取ることにより接続設定を行うことができます。

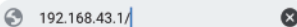


※SSID名・パスワード・QRコードは端末に添付されているシールに記載されています。(WiFiかんたん接続)

デバイス管理・データ使用量確認

管理画面への接続

U3のWi-Fiに接続した状態で、接続された機器のWebブラウザでアドレス(URL)バーに「192.168.43.1」と入力します。

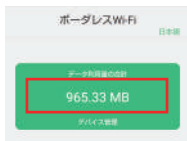


※端末に添付されているシールのQRコード「設定」を読み取って頂くことによっても設定可能です。



データ使用量確認

右記がご使用いただいたデータ量です。



管理画面へのログイン

ユーザー名 : admin

パスワード : admin

と入力し、ログインします。

A screenshot of the login page. It has the title 'ボーダレスWi-Fi'. There are two input fields: one for 'ユーザー名' (Username) and one for 'パスワード' (Password). Below the fields is a green button labeled 'ログイン' (Login).

設定

画面右下の「設定」から各種設定が可能です。



Web管理者設定	端末の管理者用ID/パスワード変更
SIMカード管理	接続先SIMの変更
データ管理	大容量データ制限の設定変更
言語設定	表示言語を変更（日本語/英語/中国語）
初期化	工場出荷状態に初期化する
詳細	ファームウェアのローカルアップデート

SIMカード管理

接続SIMの切り替え

SIMカードを挿入した状態で設定メニューからSIMカード管理を選択することにより、接続先を選択することができます。

Cloud SIM：ご使用する場所や状況に合わせて最適な接続先が自動選択されます。

SIM 1：挿入したSIMカード接続先に接続します。※

※別途お客様にてご用意頂いた場合



APNの設定

APN 設定の方法は2通りです。

1. 自動設定

SIM を挿して電源を入れると、自動的に設定が行われます。

1. 新規追加登録

SIM管理画面で「APN設定」を選択することにより任意のAPNを新たに追加登録できます。

通信事業者から提供された情報を元に、各項目を入力してください。入力後、右上の保存ボタンを押してください。

< 追加 APN(デフォルト) 保存

APN

APNユーザー名

APNパスワード

APN権限

APNタイプ

消去

接続中のデバイス

接続中のデバイス

画面中央の「クライアント」で接続中のデバイスの確認が行えます。



接続拒否（ブラックリスト）

ブラックリスト追加

接続中のデバイスのスライドボタンを切り替えることにより、その端末からU3への接続を拒否することができます。

（再度ボタン選択により解除）





注意

誤った取り扱いをすると、発熱・発火・感電などのおそれがあります。
必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

共通のお願い

●本端末は防水 / 防塵性能を有していません。水没させたり、水滴や粉塵を付着させたりしないでください。

風呂場など湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。

直接身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となることがあります。

●無理な力がかからないように使用してください。

無理な力がかかると、内部の基板などが破損し故障の原因となります。ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、かばんの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。

●急激な温度変化を避けてください

本端末を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだ時などに、本端末の内部や外部に水滴が付き結露することがあります。この状態でお使いになると、内部が腐食し故障の原因となります。

端末本体についてのお願い

●本端末極端な高温 / 低温 / 多湿はお避け下さい。

温度 5℃～35℃(ただし 36℃～45℃であれば一時的使用は可能です)
湿度 35%～85%の範囲(結露なきこと)でご利用ください。

●落としたり衝撃を与えたりしないでください。

故障、破損の原因となります。

●キャッシュカードやクレジットカード、フロッピーディスクなどの磁気を帯びた記憶媒体を本端末に近づけないでください。

近づけると磁気データの消失の原因となります。

●本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると、誤動作の原因となります。

- 一般電話 / テレビ / ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 電池が膨らんだ状態での機器の使用・充電は直ちに中止し、販売店までお知らせください。
- 本製品を不正に入手されたことが確認できた場合、予告なく使用を制限する場合があります。

充電についてのお願い

- 極端な高温 / 低温 / 多湿はお避け下さい。
温度 5℃～35℃、湿度 35%～85%の範囲（結露なきこと）でご利用ください。
- 次のような場所では充電しないでください。
ほこりや振動の多い場所一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く。

比吸収率(SAR)についての情報

本製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準 および電波防護の国

際ガイドラインに適合しています。

本製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、この製品に対する SAR の許容値は 2.0W/kg です。身体に装着した場合の SAR の最大値は 1.434W/kg です（※2）。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常 SAR

はより小さい値となります。この製品の利用時は、身体から 0.5 センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。

このことにより、この製品が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>
SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

当該端末は連邦通信委員会による規則の第 15 部に準じます。当該端末は下記の二つの条件に準拠し動作します。(1) 当該端末が有害な電波干渉を発生させることはないこと。かつ、(2) 当該端末は誤作動を発生させる可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要があること。関連業者から明確に承認されていない、いかなる交換や修正を行った場合、ユーザーの端末に関する操作権が失効します。

注意：当該端末は連邦通信委員会による規則の第 15 部に基づく、B 類デジタル端末のテストに合格し、それに準拠するものと認定されています。これらの制限は、住宅地区で使用した際に有害な電波干渉を合理的に防止するために設計されたものです。この装置は高周波エネルギーを発生、使用、放出するので、取扱説明書に従って設定・使用を行わなければ、無線通信に有害な電波干渉をもたらすおそれがあります。ただし、設定の際に電波干渉が全く起こらない保証はございません。仮に端末がラジオ /TV へ有害な電波干渉をもたらす場合、(端末の電源のオン・オフで判断ができます) 下記の方法にて措置を講じてください。

- ・再設定あるいは場所を変えて接続を行う
- ・端末と他の通信機器との間隔を空ける
- ・端末を受信機と異なる回線へ接続する
- ・製造元またはラジオ /TV の専門家に相談する



廃棄と回収情報

端末・バッテリー・パッケージ上に上記のマークがある場合（マークのみ・マークの下にソリッドバーがある場合もあります）、端末とイヤホンやアダプタ、ケーブルなどの電子部品やバッテリーは家庭ごみとして廃棄できません。これらを未分類の地方自治体廃棄物として処理するのではなく、認定を受けたゴミ収集場・リサイクル場への廃棄を行ってください。端末またはバッテリーのリサイクルに関する詳細な情報は、お住まいの地域の役所や家庭ごみ廃棄サービスセンターまたはリテールセンターへお問い合わせください。デバイスとバッテリー（内蔵の場合）の廃棄は、WEEE 指令の対象となっているので、改訂版の指令（指令 2012/19/EU）と電池指令（指令 2006/66/EC）に従い、廃棄してください。WEEE と電池をその他の廃棄物と分離する目的は、有害物質が環境や人々の健康へ及ぼす潜在的なリスクを最小限に抑えることです。